

令和元年度 デジタル道路地図基礎資料作成要領

政令市の一般国道・主要地方道・一般都道府県道・

市道・農道・林道・臨港道路等

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省 国土地理院 関東地方測量部

<目 次>

<目 次>	1
1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的	2
2. 作成・提供いただく資料	3
(1)作成いただく資料	3
(2)提供いただく資料	4
(3)機関別提出資料一覧	6
3.【様式1】 政令指定市の一般国道、主要地方道、一般都道府県道、一般市道、農道、林道、臨港道路	7
例:更新データ一覧表(様式1_政令市)	9
例:位置図	12
例:平面図 CAD データ(工事用等)	14
例:道路台帳付図データ	15
例:中心線座標リスト	16
例:縦断図 CAD データ	17
例:標準横断面 CAD データ	18
例:道路冠水想定箇所リスト	19
例:路線データ(様式2)	23
4. 参考・・・標準的な年間スケジュール	24

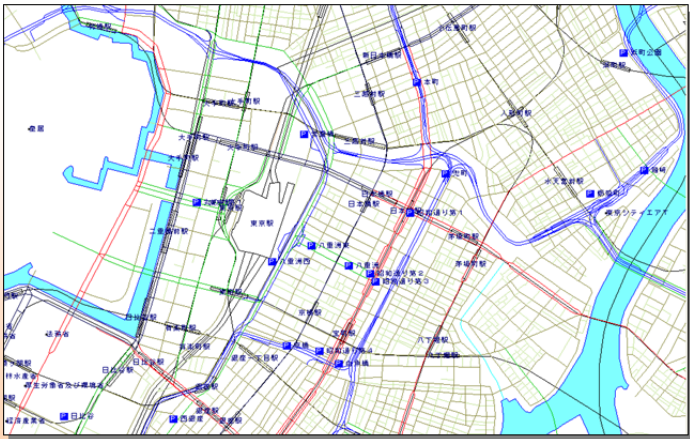
1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的

国土交通省の各地方整備局、北海道開発局、内閣府の沖縄総合事務局は、道路情報の最新の状況をデジタルデータとして把握し活用するため、毎年、全国のデジタル道路地図データベース(DRM データベース)を整備・更新しています。この DRM データベースを用いて、VICS、特車オンライン申請システム、道路交通センサス、交通事故分析など、様々な道路管理におけるシステムが運用されるとともにカーナビ用の基盤地図としても活用されています。

一方、国土地理院では、国土管理、地域防災の基本となる「電子国土基本図」を整備しています。電子国土基本図は、国や自治体の管内図をはじめ、民間が作成する様々な地図の更新などにも利用されており、特に道路等の情報については高精度かつ最新の情報として整備を進めているところです。

これらの DRM データベースや電子国土基本図は、最新の道路更新情報に基づいて着実な更新が必要です。そのため、国土交通省地方整備局等と国土交通省国土地理院地方測量部が合同で毎年定期的に「デジタル道路地図基礎資料の作成」を主要道路の管理者に依頼するものです。それぞれの道路管理者が持っている情報で、近く新規供用される道路の情報や管理者・施設等の変更情報を各地図更新用の基礎資料として所定の様式にまとめるとともに、当該箇所¹の図面データ等の提供を依頼するものです。

精度の高い DRM データベースと国土の基本図が整備され、迅速に着実に更新されるためには、「デジタル道路地図基礎資料」の質の高さに負うところが多大であり、関係道路管理者のご協力が必要不可欠です。



DRMデータベース

DRMデータベースの特徴

DRMデータベースは、道路のネットワークを表す地図のデータベースで、道路網を形成するノードとリンクには、官民が情報を共有するための固有番号(ID)が付与されています。

また、路線名、橋梁・トンネル、踏切等の道路に関する構造物や道路交通センサスの統計情報など、道路に関する情報を保有しています。



電子国土基本図

電子国土基本図の特徴

電子国土基本図は、国土地理院が刊行している1/25,000地形図の電子地図版に相当するもので、道路形状(都市計画区域等では1/2,500精度)のほか、等高線による地形や建物、土地利用の様子、地名などが詳細に表示されています。

インターネット上で、様々な地理的情報を重ねて表示することができ、地図を背景にした情報共有が可能です。

2. 作成・提供いただく資料

(1) 作成いただく資料

①更新データ一覧表

■様式1「更新データ一覧表」(9p～11p 参照)

参照用提供資料	前年度の道路管理者提供資料によるデータ化の状況、国の補助対象道路及び更新対象の道路情報を整理したリスト
対象道路	一般国道・主要地方道・一般都道府県道及び 車道幅員 5.5m 以上の政令市道
供用予定時期	令和元年度～令和3年度末
作業	①道路の更新箇所について 新規供用、拡幅・中央分離帯設置(上下分離)、線形改良、交差点改良、管理変更(過去3年間の管理変更・廃道など)等を記載する。 ②道路施設等について 橋梁等の対象施設の名称(漢字等の表記と読み仮名)を、①から改行して記載する。 ・10、11 ページ様式1の作成ポイント及び8ページの対象事象を参照して下さい。
対象道路	車道幅員 5.5m 以上の道路法以外の幹線的な農道・林道・臨港道(※1)
供用予定時期	令和元年度内(事実上の交通開放を含む)
作業	令和元年度内に開通又は開通を予定している対象道路について道路の情報を記入して下さい。
対象道路	車道幅員 3.0m 以上の自動車通行可能な政令市の市道・農道・林道・臨港道路
供用時期	平成30年度に <u>変化のあった道路</u> (※2)(事実上の交通開放を含む)
作業	更新データ一覧表へ上記対象道路(構造物含む)を記入して下さい。

※1 幹線的な道路とは、広域的な交通が多くネットワークをなす路線、国の補助事業対象道路、広域農道、大規模林道、広域基幹林道、主要な観光地へ連絡する道路、特殊車両通行道路として位置づけられる道路、災害対策基本法に基づく地域防災計画における緊急輸送道路(今後位置づけられる予定の道路も含む)

※2 変化のあった道路とは、平成31年3月までに開通済みの自動車通行可能な道路で、新設や交差点改良などを指します。

■様式2「路線データ」(23p 参照)

参照用提供資料	前年度の路線に関する情報のリスト
対象道路	一般国道・主要地方道・一般都道府県道及び主要幹線市道
更新予定時期	令和元年度末
作業	令和元年度内の変更予定箇所を修正するとともに、追加路線の情報を記載する。

②位置図 ※管内図・パンフレット等、既存の資料で位置が示された資料があれば作成不要

■位置図（12p、13p 参照）、■道路冠水想定箇所図（20p 参照）

希望する資料の内容	更新対象箇所を記載した地図（既存の図が無い場合作成）
対 象	様式 1、様式 2 に情報を追加・修正し、工事用図面を提供する箇所及び移管する箇所
作 業	位置図に用いる管内図又は地理院地図等に、更新対象箇所の位置と様式 1 の対応番号を記入する。 道路冠水想定箇所図がない場合も同様に、 <u>道路冠水想定箇所リストと対照する番号を記入した位置図を作成する。</u>

(2) 提供いただく資料

①前記、更新データ一覧表に記載箇所の図面等

■工事用図面等（平面図/縦断面図/標準横断面図/道路中心線座標リスト）（14～18p 参照）

希望する資料の内容	道路の形状、既存の道路との接続関係が分かる工事用平面図、及び平面図に対応する縦断面図、道路中心線の座標（測地座標又は平面直角座標）リスト、標準横断面図
対 象	<u>様式 1、様式 2 に追加した新規道路及び道路改良箇所</u>
ファイル形式	CAD 形式⇒SXF（拡張子が P21 又は SFC）、または AutoCAD（拡張子が DXF 又は DWG）

■道路冠水想定箇所（19p、20p 参照）

希望する資料の内容	道路冠水想定箇所リスト（道路冠水想定箇所図、位置図（20p 参照））
対 象	道路冠水想定箇所の全て
ファイル形式	エクセル形式（拡張子が xls または xlsx）

※政令市から整備局又は国道事務所に資料提出している場合は、提出不要

■管内図 2 部

対 象	最新の管内図
ファイル形式	紙媒体（2 部）、または PDF 形式（拡張子が PDF）

②照会票に対するご回答

更新データ一覧表の照会票欄に記載のある場合は、照会票を同封させて頂いております。「更新データ一覧表 政令市」(9p 例1 参照)の照会内容に対するご回答をお願いします。

照会票の内容	デジタル道路地図データベース整備にあたり、確認したい事象及びご提供頂きたい資料等を具体的な内容で示したもの
作業	照会へ対するご回答、または照会回答に必要な図面のご提供
ファイル形式	平面図等提出の場合は、前記①のファイル形式 回答のみの場合は、回答を記載した Word、PDF 等の電子ファイル

照会票 例

No. <u>〇〇市-1</u>			
平成 28 年度 デジタル道路地図基礎資料に関する照会票			
照会先	〇〇市		
道路種別	市道	路線番号	
道路名等	1-1005号線		
所在地名	〇〇市大字△△		
照会内容			
<p>旗揚げの区間、近年市道が拡幅改良されたことと思います。デジタル道路地図へ更新が反映されていないため、この区間の道路台帳付図のご提供をお願いします。</p>			
回答欄			
回答者		連絡先	TEL : E-mail :
照会者	一般財団法人日本デジタル道路地図協会 〇〇 △△	連絡先	TEL : 03-3222-7990 E-mail : *****@drm.or.jp
情報番号		照会日	平成 28 年 月 日

(3) 機関別提出資料一覧

提出資料	関係機関					作成資料
	地方整備局 国道事務所	高速・都市高 速道路会社	都道府県 政令市	都道府県 土木事務所	市区町村 農林・港湾	
(1) 更新箇所一覧表						
①様式1更新データ	○	○	○	○	○	例1
②様式2路線データ	○	○	○	—	—	例19
(2) 位置図*						
①道路の新設	○	○	○	○	○	例2
②道路の改良	○	○	○	○	○	例3
③施設の新設・廃止	○	○	○	○	○	例4
④施設の移設	○	○	○	○	○	例5
⑤施設名称の変更	○	○	○	○	○	例6
⑥区間情報の変更	○	○	○	○	○	例7
⑦公共施設の変更	○	○	○	○	○	例8
(3) 工事用図面等*						
①平面図CADデータ	○	○	○	○	○	例9、10
②中心線座標リスト	○	○	○	○	○	例11
③縦断図CADデータ	○	○	○	○	○	例12
④標準横断面図CADデータ	○	○	○	○	○	例13
(4) 距離標入り平面図	○	—	—	—	—	
(5) 現・旧・新道区分図	○	—	—	—	—	
(6) 道路冠水想定箇所						
①箇所リスト	○	—	○	—	—	例14
②想定箇所図・位置図	○	—	○	—	—	例15、16
(7) 参考資料						
①管内図	○	○	○	○	○	
②事業概要	○	○	○	○	○	
③事業パンフレット等	○	○	○	○	○	

※ 位置図の作成について

1枚の位置図に、複数の箇所を記載して下さい。

既存のパンフレットや事業概要等で位置がわかる場合は、位置図を作成する必要ありません。

【工事用図面】

道路の新設・改良箇所は、①平面図、②縦断図、③標準横断面、④道路の中心線座標を必ず提出する。

3.【様式1】政令指定市の一般国道、主要地方道、一般都道府県道、一般市道、農道、林道、臨港道路

項目別提出資料一覧

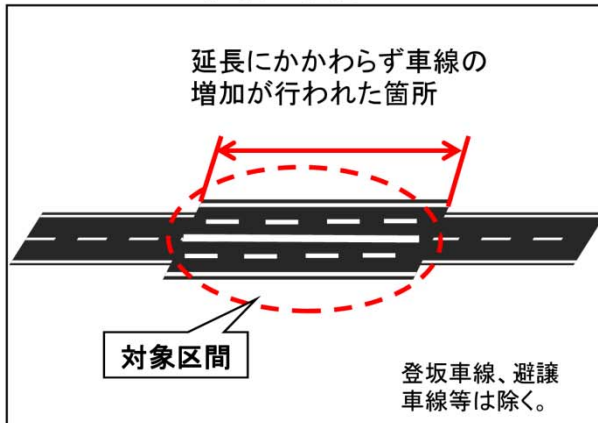
項目(更新の種類)		道路の新設・改良	道路構造物等の新設・廃止・移設・名称変更等	管理変更	名称設定、事務所位置等の新設・変更	路線データ変更	
資料対象		<ul style="list-style-type: none"> 新規供用(道路の新設、バイパス) 拡幅等(車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)、道路中心線の移動が該当し、幅員変更のみは非該当) 線形改良(局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動) 交差点の改良(交差点立体化、ラウンドアバウト、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去が該当し、右左折車線の設置のみは非該当) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートIC 橋・高架(延長15m以上)、トンネル 踏切、立体交差、横断歩道橋、料金所、SA・PAの駐車場 道路冠水想定箇所 ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター 	<ul style="list-style-type: none"> 道路新設に伴う旧道移管 道路管理者、道路種別、路線番号等の変更 有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更、ICランプ、交差点導流路等、道路構造から決まる一方通行の変更。市街地部等の一方通行は対象外 道路の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点名称、道路通称名(直轄国道バイパス名など)等が該当 出張所等(地方整備局、役場地等)の新設、移転、名称変更 	<ul style="list-style-type: none"> 路線名称の変更、始点終点位置の変更 	
供用・実施予定時期		令和元～3年度(車道幅員5.5m以上)※ 平成30年度開通済み(車道幅員3m以上)		平成29～令和元年度	平成30年度又は令和元年度		
提出資料と凡例	箇所一覧表	様式1(例1)				様式2(例19)	
	位置図	(例2～8)					
	現・旧・新道区分図						
	CADデータ	平面図	(例9又は例10)				
		縦断図	(例12)				
		標準横断面図	(例13)				
	中心線座標リスト	(例11)					
	道路冠水想定箇所		(例14～16)				
異常気象時通行規制	(例17)						
緊急輸送道路	(例18)						

※車道幅員5.5m以上で道路法適用以外の農道・林道・臨港道は令和元年度供用予定までが対象

■ 対象とする事象

分類	事象
新規供用	道路の新設、バイパスの新設等
拡幅等	車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)、道路中心線の移動。幅員変更のみ、登坂車線の設置等は除く。
線形改良	局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動

拡幅の事例

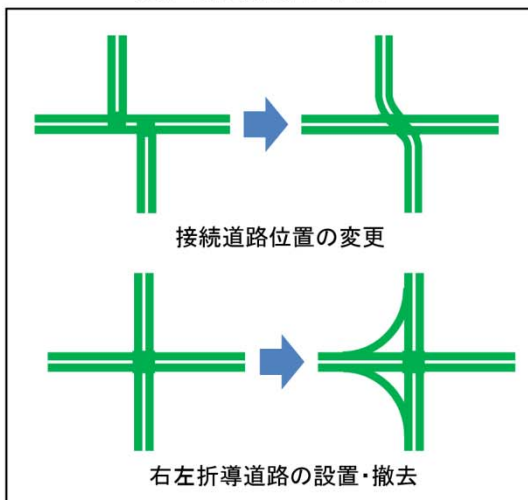


線形改良の事例

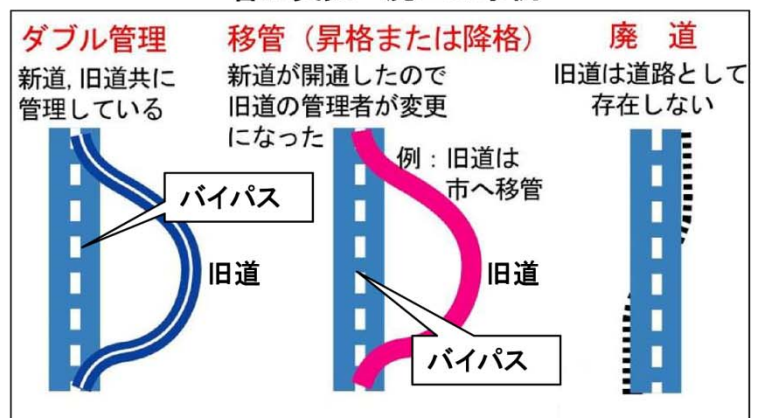


分類	事象
交差点改良	交差点立体化、ラウンドアバウト(環状交差点)、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去。右左折車線設置のみは除く。
管理変更・廃止等	道路管理者・道路種別・路線番号・名称変更など
規制等変更	有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更 ICランプ、交差点導流路など道路構造から決まる一方通行の変更。 公安委員会決定等の一方通行は対象外。

交差点改良の事例



管理変更・廃止の事例



例：更新データ一覧表（様式1_政令市）

例1

記入例は架空のものです。
例示した位置図とこの表の記入例は対応関係が必ずしも一致しません。政令指定市

記入者、電話番号等を記入

確認済みの場合は「済」と記入

月が未定の場合は年度のみで可

標準幅員を記入

H30.31年度でご担当者ご所属の欄は必ず記入願います
H30

作成日 / /

担当者 / /

連絡先 / /

電話番号 / /

Eメールアドレス / /

民間提供可否記入

位置図	平道幅	側道幅	横道幅	中心線距離	種別	09標準番号	位置図との対応番号	道路種別	道路名称(ハイパス名)	更新内容等	供用予定年月	区間	延長(m)	車線数(上下階合計)	データ化反映結果	備考(非該当理由等)	DFM該当判断結果	市民又は社会福祉施設整備計画番号	民間提供可否 「可」の場合は○、「不可」の場合は×を記入	
H29済	H29済	H29済	H29済	H29済	済	13089030300		3:一般道	国道**号線	新規供用	H28.12	△△~□□	3,000	10.0	2				○	
H29済	H29済	H29済	H29済	H29済	済	13089030301		3:一般道	〇ンネ(〇ンネ)				600		2	グレート	一部通行可能		○	
H29済	H29済	H29済	H29済	H29済	済	13089030500		3:一般道	〇〇〇〇		H30年度		3,000	6.5	2	グレート	ダブル管理		○	
					済	14089030700		3:一般道	国道**号線	新規供用	H30.04.21	〇〇〇〇〇〇~△△〇〇〇〇〇〇	3,000	6.0	2	グレート	一般有料		○	
					済	14089030900		3:一般道	国道**号線 第2工区	新規供用	H30年度	〇〇〇〇〇〇~△△〇〇〇〇	3,000	6.0	2	グレート			○	
					済	14089030901		3:一般道	〇〇橋(〇〇橋)				900		2	汎用	府会審印取得		○	
					済	14089031000		4:企業地方道(指定幹線)	△△△△△	新規供用	H30.11	△△△△△町A区YB~□□□□町A区YB	1,600	10.0	2	汎用			○	
					済	15089041000		3:一般道	国道**号線	道路幅員変更(8.11m→7.75m)			900		2	グレート			○	
					済	15089041001		3:一般道	〇〇歩道橋新設		H30.11		300		2	グレート			○	
					済	15089041002		3:一般道	〇〇歩道橋新設		H30.11		300		2	グレート			○	
					済	15089041002		3:一般道	〇〇歩道橋新設		H30.05		10		2	グレート			○	
					済	14089040100		3:一般道	△△△	修繕(□□町~修繕)	H27.03 H28.03	〇〇〇〇〇〇~△△△△△	1,000	6.0	2	グレート			○	
					済	15089030400		3:一般道	〇〇歩道橋新設		H30.03	〇〇〇〇〇〇~△△△△△	2,300		2	グレート			○	
					済	15089031100		3:一般道	〇〇歩道橋新設		H30.03.31		1,600		2	グレート			○	
位置図	平道幅	側道幅	横道幅	中心線距離		【以下 社会資本総合整備計画及びホームページに該当する可能性のあるものを抜粋しました。上記記載の箇所及び計画に該当する事業が否かをご確認のうえ、該当する場合は資料一式のご提供をお願いいたします】														
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		①	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	交通改善(××交差点)	H30	△△△~〇〇〇	200		2				○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		②	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	道路改良	H29.03	△△△~〇〇〇	2,000	10	4				○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		③	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	道路改良	H29.03	△△△~〇〇〇	800	8	2				○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		④	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	新規供用	H30.03	〇〇〇〇〇〇~〇〇〇〇〇〇	1,600	6	2	15089030400	他の起算箇所と重複		○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		⑤	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	交通改善	H30.04	△△△~〇〇〇	800	15	4				○	
位置図	平道幅	側道幅	横道幅	中心線距離		【以下に上記以外での事業で「平成30~32年度までに完成予定」と見込まれる箇所などがあれば追加して下さい。※修繕等もご記入下さい。】														
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		⑥	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	道路改良	H29.03	△△△~〇〇〇	400		2				○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		⑦	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	道路改良	H30.03	〇〇〇〇〇〇~△△△△△	300		2				○	
あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		⑧	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	道路改良	H30.12	△△△~〇〇〇	300		2				○	

旧道が移管、廃止されない場合は「ダブル管理」と記入

上下線が分離されている場合は車道幅員の合計値を記入

供用予定の変更が多数あり、必ずご確認願います

【以下に、平成30年度にご提供過去の路線(受補道)を記載しております。ここに記載の路線について資料は不要です】

あり	あり (CADあり)	あり	あり	あり	済		⑨	3:一般道	企業地方道(指定幹線)	6666	H30	〇〇〇〇〇〇TBC	1,300	8	2				○
----	------------	----	----	----	---	--	---	-------	-------------	------	-----	-----------	-------	---	---	--	--	--	---

【以下に、平成30年度供用済で上記受補道以外路線で昨年度供用済・改良等の道路を追加記載してください。】

No	照会番号	備考
1	08-001	別紙照会番号001をご参照下さい
2	08-002	別紙照会番号002をご参照下さい
3	08-003	別紙照会番号003をご参照下さい
4	99-008	別紙照会番号008をご参照下さい
5		

5Pの「照会票に対するご回答」を参照頂きご回答願います

行は必要に応じて追加して下さい。記載に関する詳細は作成ポイント及び「平成30年度デジタル道路地図整備資料作成要領」をご参照下さい

様式 1 の作成ポイント

■ 供用予定や工事図面に大幅な変更があった場合も資料提供により変更可能です。

■ 対象箇所が無い場合は空欄のままの様式 1 を送付下さい。

(1) 「資料提供確認」欄 (C~G 列)

- ① 未受領と記載されている箇所は、該当の資料を受領していませんのでご提供下さい。
- ② ピンクに塗られた箇所及び斜線の箇所については、資料を受領済等ですので不要です。
- ③ 必要図面等（本資料の最後に掲載）の添付の可否に係わらず、プルダウンから必要事項を選択して下さい。

(2) 「確認」欄 (H 列)

各行の記載内容を確認し、内容が異なる箇所は赤字で訂正して下さい。確認が済みましたら必ず「済」と記入して下さい。

(3) 「位置図との対象番号」欄 (J 列)

図面等を添付する必要がある場合は、この欄に通し番号を記入し、その番号を添付ファイル名にも付けて下さい。

(4) 「道路種別」欄 (K 列)

下記から当てはまる道路種別をプルダウンから選択して下さい。

- | | | |
|----------------|----------------|-----------|
| 1：高速自動車国道 | 2：都市高速道路 | 3：一般国道 |
| 4：主要地方道（都道府県道） | 5：主要地方道（指定市道） | 6：一般都道府県道 |
| 7：政令市の一般市道 | 9：政令市以外の一般市町村道 | |
| A：臨港道路 | B：農道 | C：林道 |
| D：道路運送法の道路 | E：私道 | F：その他 |

一般有料道路については、備考欄に「一般有料」と記入して下さい。

(5) 「更新内容等」欄 (O 列)

① 道路の更新箇所について

新規供用、拡幅・中央分離帯設置（上下分離）、線形改良、交差点改良、管理変更（過去3年間の管理変更・廃道など）等を記入して下さい。

② 道路施設等について

橋梁等の対象施設の名称（漢字等の表記と読み仮名）を、①から改行して記入して下さい。

【該当性の判断基準】

令和3年度までに供用予定見込の一般国道、主要地方道、一般都道府県道、政令市道（工区の一部での供用予定も該当します）

（ただし、5.5m以上の政令市の農道・林道・臨港道路等は令和元年度まで、3.0m以上の市道等は平成30年度開通済みが該当します。）

- ・ 新規供用（道路の新設、バイパス）、拡幅等（車線数の増加・減少、上下線分離の中央分離帯設置、道路中心線の移動）が該当し、幅員変更のみは該当しません。
- ・ 線形改良（局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動）、交差点の改良（交差点立体化、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去）が該当し、右左折車線の設置のみは該当しません。
- ・ スマート IC、橋・高架（延長15m以上）、トンネル、踏切、立体交差、横断歩道橋、料金所、SA・PAの駐車場、道路冠水想定箇所、ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター、交差点名称、道路通称名（直轄国道バイパス名など）等が該当します。

(6) 「データ化反映結果」欄 (U 列)

① 「データ化済」と書いてある行について

デジタル道路地図として既にデータ化済みです。記載データに変更や修正箇所がある場合、赤字で修正して下さい。また、線形変更等により大幅な変更が生じた場合はその図面等をご提供下さい。

② 「未実施」と書いてある行について

右隣の「備考」欄や「資料提供確認」欄等を確認し、照会票を参照の上ご回答下さい。

(7) B 列の「社会資本欄」の行に記載のある箇所について

以下に従って、「DRM 該当判断結果」欄 (W 列) のプルダウンから選択し、その他の必要事項を記入して下さい。

① B 列の「過年度受領欄」等の行に記載されているデータと重複している場合

「他の記載箇所と重複」を選択し、「備考」欄 (V 列) に、既に記載されているデータの「DRM 管理番号」(I 列) を記入して下さい。

② W 列で「該当する」又は「該当する(一部区間)」の場合

「該当する」又は「該当する(一部区間)」を選択し、当該行の記載内容を適宜赤字で修正・追記した上で、必要図面もご提供下さい。

③ W 列で「該当しない」場合

工事内容が該当しない場合は「該当しない(工事内容)」を、供用予定が令和 4 年度以降のため該当しない場合は年度に合わせ「該当しない(R4 年度供用予定)」等を選択して下さい。

④ P 列の供用予定年月について

供用予定が変更(工事期間の延長等)されているのに修正されないと、記載どおりデータ化されてしまいます。必ず確認して下さい。

(8) B 列の「新規追加」欄の箇所について

「令和 3 年度までに完成」と見込まれる箇所で、B 列の「過年度受領済欄」及び「社会資本欄」に記載されていないものがあれば、「新規追加」欄へ追記の上、必要図面もご提供下さい。(事業工区の一部区間等暫定的な供用も含む。)

(9) 「民間提供可否」欄 (Y 列)

民間への資料提供が「可」の場合は「○」、「否」の場合は「×」を記入してください。

①提供先となる民間・・・DRM協会との契約により DRMDB を使用している民間企業主にはトヨタ自動車(トヨタマップマスター)、パイオニア(インクリメントP)、ゼンリン、昭文社、ダイナミックマップ基盤などデジタル道路地図を作成している民間企業)

②提供する資料・・・位置図、平面図、縦断図、標準断面図、道路中心線座標リスト

③民間での資料の取り扱いなど

- ・地図作成のみに使用(DRM協会との契約で決められているデータベースの使用目的による)
- ・資料の機密保持(DRM協会との契約で決められている機密の保持(第三者への漏洩禁止)による)
- ・完成時との相違(特に計画・工事段階の資料などで、完成時と異なることが想定されるような場合には、提供を受けた企業の責任で、その差異を最終確認)

例：位置図

- 位置図は地形図や管内図を使用して1/25,000～50,000程度の縮尺で作成する。
- パンフレット等の地図に位置が明記してあれば、位置図の作成は不要。

例2 ■道路・バイパスの新設、橋・トンネルの新設、IC・JCTの追加



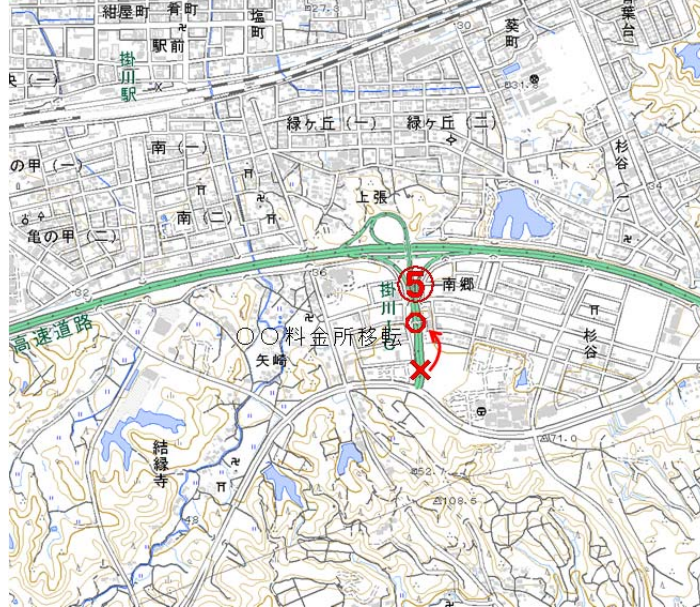
例3 ■道路の線形改良・拡幅、交差点の改良 距離標の新設・増設、廃止、変更



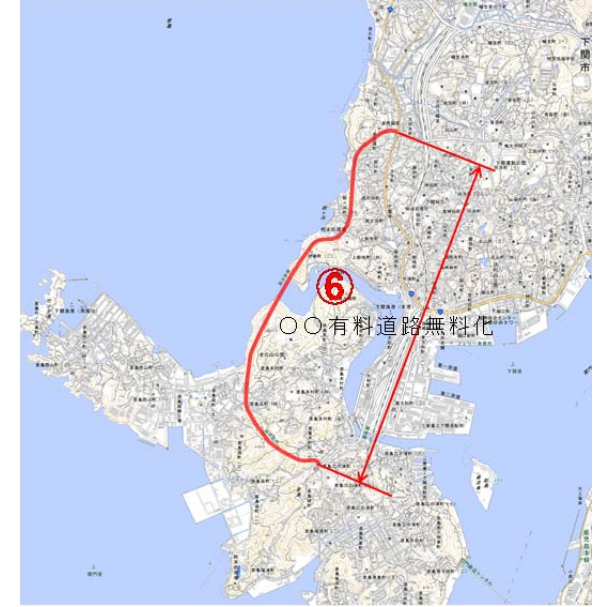
例4 ■踏切、料金所、SA・PA、横断歩道橋
スノーシェルタ等の新設・廃止



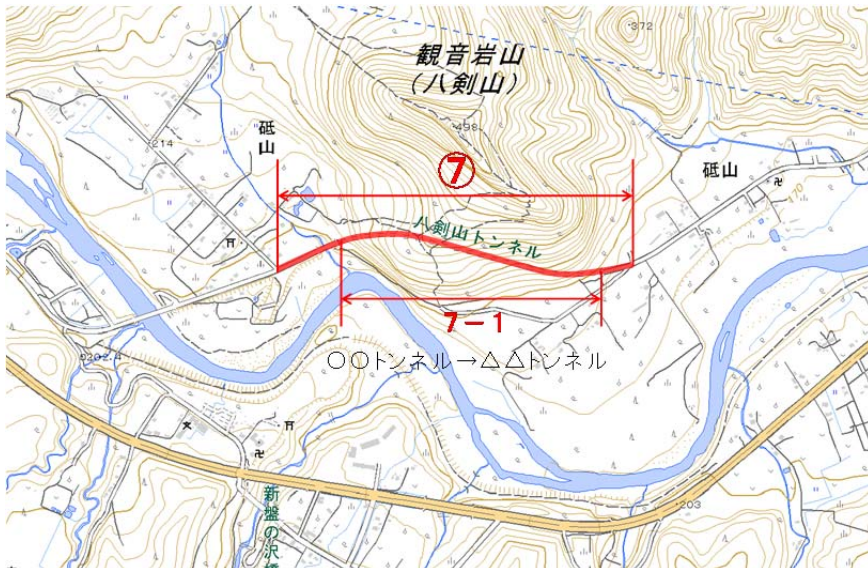
例5 ■橋・高架、トンネル、踏切、料金所、SA・PA
横断歩道橋、スノーシェルタ等の移設



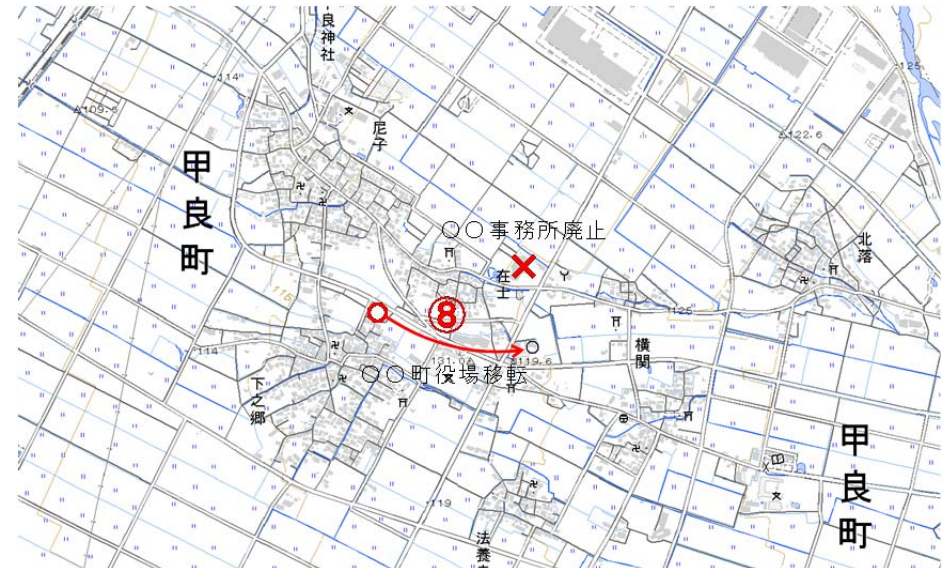
例7 ■移管、有料道路の無料化、道路の廃止、
一方通行の変更、自専道の変更



例6 ■道路、橋・高架、トンネル、踏切、交差点、SA・PA 等の名称変更



例8 ■公共施設(国・都道府県の機関、市町村庁舎等)の新設・移転・
廃止、名称変更

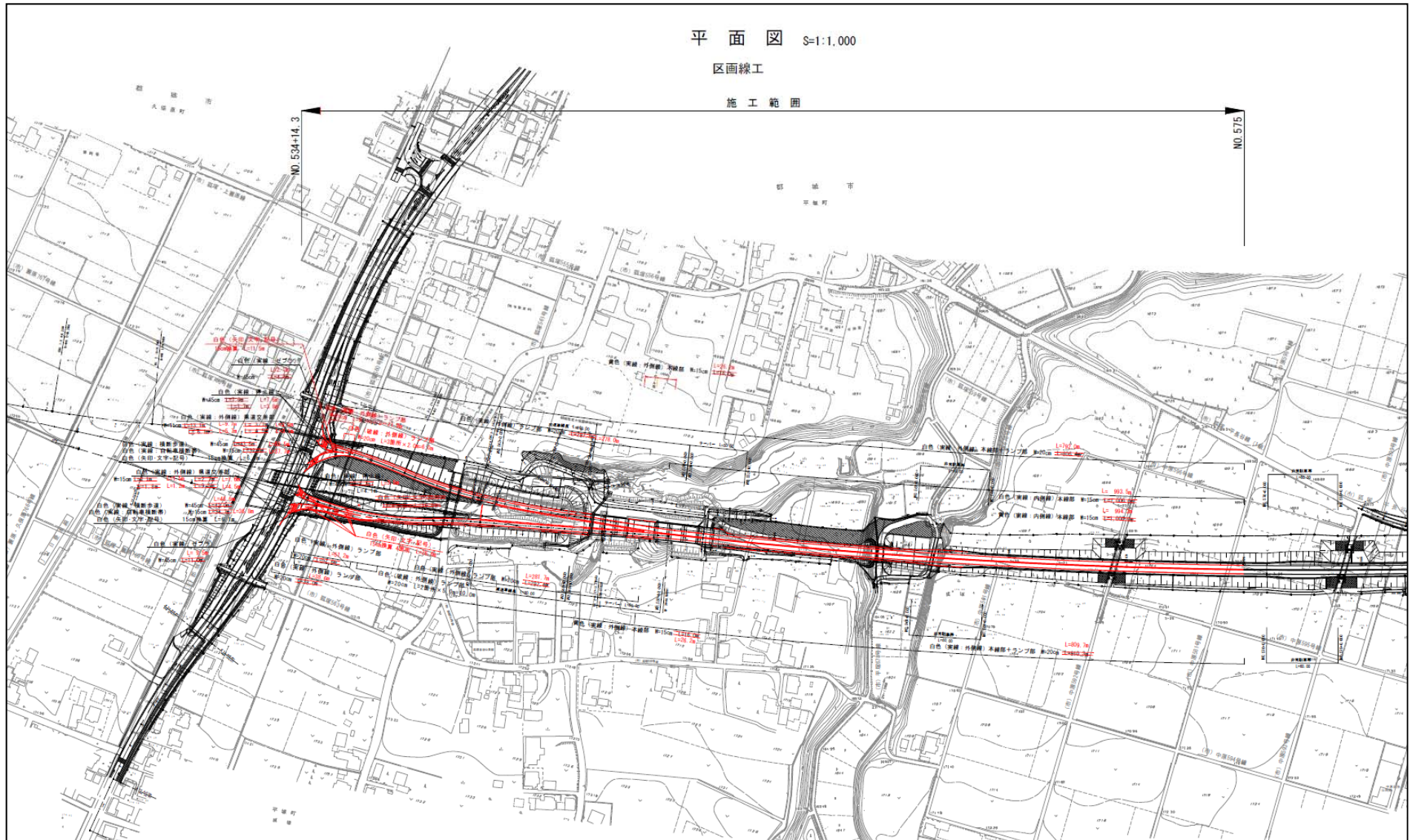


例：平面図 CAD データ（工事用等）

CAD 図面のデータを提出する。

当該予定全区間を含む縮尺 1/500～1/1,000 程度の区画線協議図等、供用時の状況を反映した図面がある場合は、その図面の CAD データを提出する。
供用時の状況を反映した図面が無い場合は、当該予定全区間を含む縮尺 1/500～1/1,000 程度の道路詳細設計図等の CAD データを提出する。

例 9

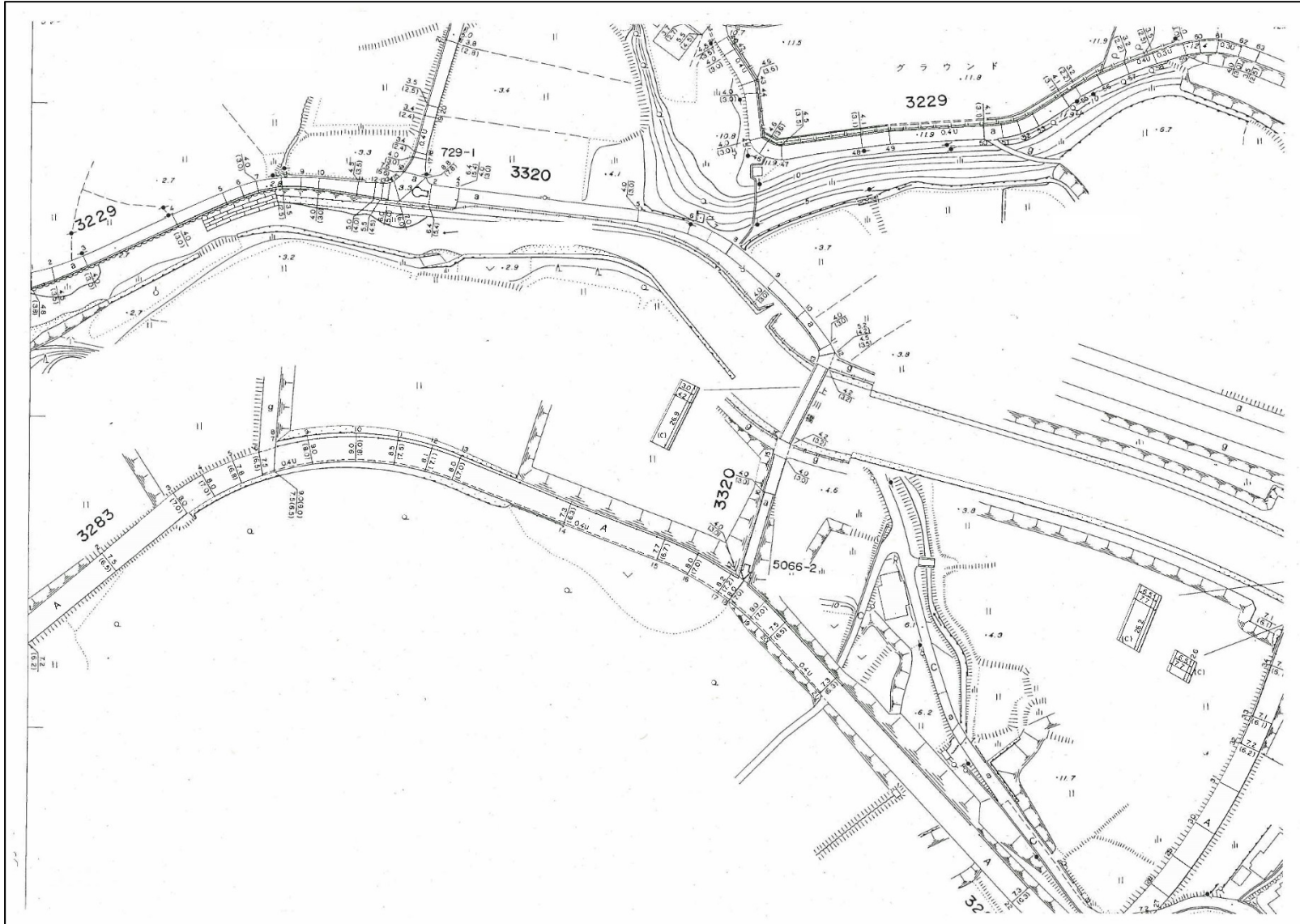


例：道路台帳付図データ

CAD データ、PDF、紙の優先順位でいずれかを提出する。

当該全区間を含む縮尺 1/500~1/1,000 程度の台帳付図(境界確定図は不可)を提出する。

例10



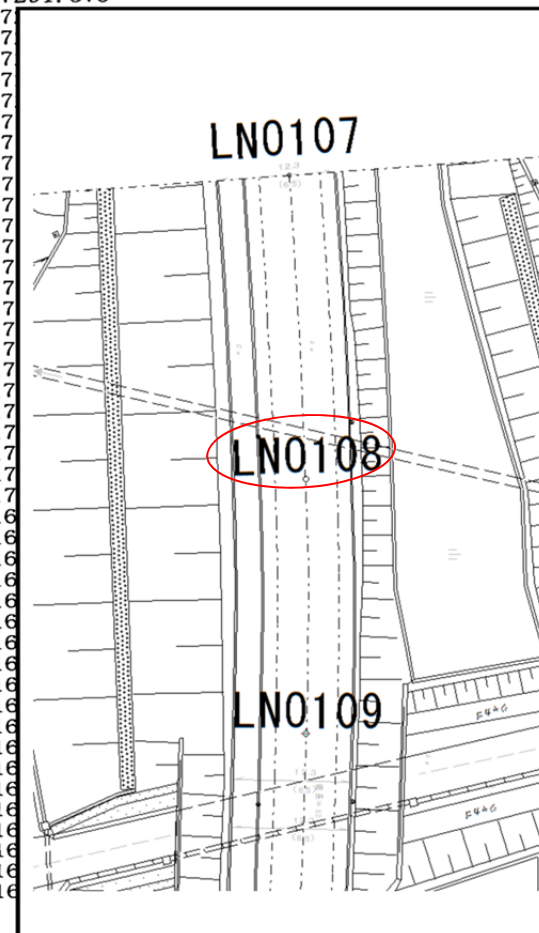
例：中心線座標リスト

例 1 1

現場名：

<< 座標 L I S T >> (世界測地系)

点 名	X座標	Y座標	点 名	X座標	Y座標
LNO107	-68864.884	-18386.413	LNO117+20	-69189.263	-17426.839
LNO107+20	-68866.316	-18365.234	LNO117+40	-69194.638	-17407.427
LNO107+40	-68880.963	-18350.466	LNO117+60	-69200.034	-17387.943
LNO107+60	-68888.996	-18332.511	LNO117+80	-69205.453	-17368.375
LNO107+80	-68897.027	-18314.558	LNO118	-69210.902	-17348.699
LNO108	-68905.059	-18296.606	LNO118+20	-69218.006	-17329.499
LNO108+20	-68913.091	-18278.651	LNO118+40	-69226.322	-17310.709
LNO108+40	-68921.126	-18260.690	LNO118+60	-69234.657	-17291.873
LNO108+60	-68929.166	-18242.720	LNO118+80	-69243.029	-17
LNO108+80	-68937.212	-18224.736	LNO119	-69251.442	-17
LNO109	-68945.264	-18206.736	LNO119+20	-69259.922	-17
LNO109+20	-68953.340	-18188.684	LNO119+40	-69271.791	-17
LNO109+40	-68961.429	-18170.603	LNO119+60	-69284.670	-17
LNO109+60	-68969.526	-18152.502	LNO119+80	-69297.517	-17
LNO109+80	-68977.633	-18134.376	LNO120	-69310.373	-17
LNO110	-68985.752	-18116.225	LNO120+20	-69323.278	-17
LNO110+20	-68993.884	-18098.046	LNO120+40	-69336.276	-17
LNO110+40	-69002.029	-18079.836	LNO120+60	-69352.334	-17
LNO110+60	-69010.188	-18061.594	LNO120+80	-69365.022	-17
LNO110+80	-69018.364	-18043.315	LNO121	-69390.972	-17
LNO111	-69024.200	-18024.311	LNO121+20	-69408.978	-17
LNO111+20	-69029.517	-18005.157	LNO121+40	-69426.828	-17
LNO111+40	-69034.837	-17985.997	LNO121+60	-69444.579	-17
LNO111+60	-69040.187	-17966.727	LNO121+80	-69462.287	-17
LNO111+80	-69045.529	-17947.452	LNO122	-69480.010	-17
LNO112	-69050.732	-17928.141	LNO122+20	-69497.804	-17
LNO112+20	-69055.936	-17908.829	LNO122+40	-69515.725	-17
LNO112+40	-69061.140	-17889.518	LNO122+60	-69533.807	-17
LNO112+60	-69066.343	-17870.207	LNO122+80	-69552.088	-17
LNO112+80	-69071.547	-17850.895	LNO123	-69571.523	-17
LNO113	-69076.751	-17831.584	LNO123+20	-69591.867	-17
LNO113+20	-69082.106	-17812.313	LNO123+40	-69612.086	-17
LNO113+40	-69087.531	-17793.063	LNO123+60	-69632.221	-16
LNO113+60	-69092.956	-17773.814	LNO123+80	-69652.306	-16
LNO113+80	-69098.382	-17754.562	LNO124	-69672.364	-16
LNO114	-69103.807	-17735.312	LNO124+20	-69692.416	-16
LNO114+20	-69109.233	-17716.061	LNO124+60	-69732.536	-16
LNO114+40	-69114.658	-17696.811	LNO124+80	-69752.719	-16
LNO114+60	-69120.020	-17677.543	LNO125	-69772.936	-16
LNO114+80	-69125.332	-17658.262	LNO125+20	-69793.102	-16
LNO115	-69130.645	-17638.980	LNO125+40	-69813.224	-16
LNO115+20	-69135.958	-17619.698	LNO125+60	-69833.304	-16
LNO115+40	-69141.270	-17600.417	LNO125+80	-69853.347	-16
LNO115+60	-69146.583	-17581.135	LNO126	-69873.373	-16
LNO115+80	-69151.908	-17561.857	LNO126+20	-69893.396	-16
LNO116	-69157.240	-17542.581	LNO126+40	-69913.420	-16
LNO116+20	-69162.571	-17523.305	LNO126+60	-69933.445	-16
LNO116+40	-69167.902	-17504.028	LNO126+80	-69953.471	-16
LNO116+60	-69173.233	-17484.752	LNO127	-69973.498	-16
LNO116+80	-69178.564	-17465.476	LNO127+20	-69993.525	-16
LNO117	-69170.127	-17442.382	LNO127+40	-70013.554	-16

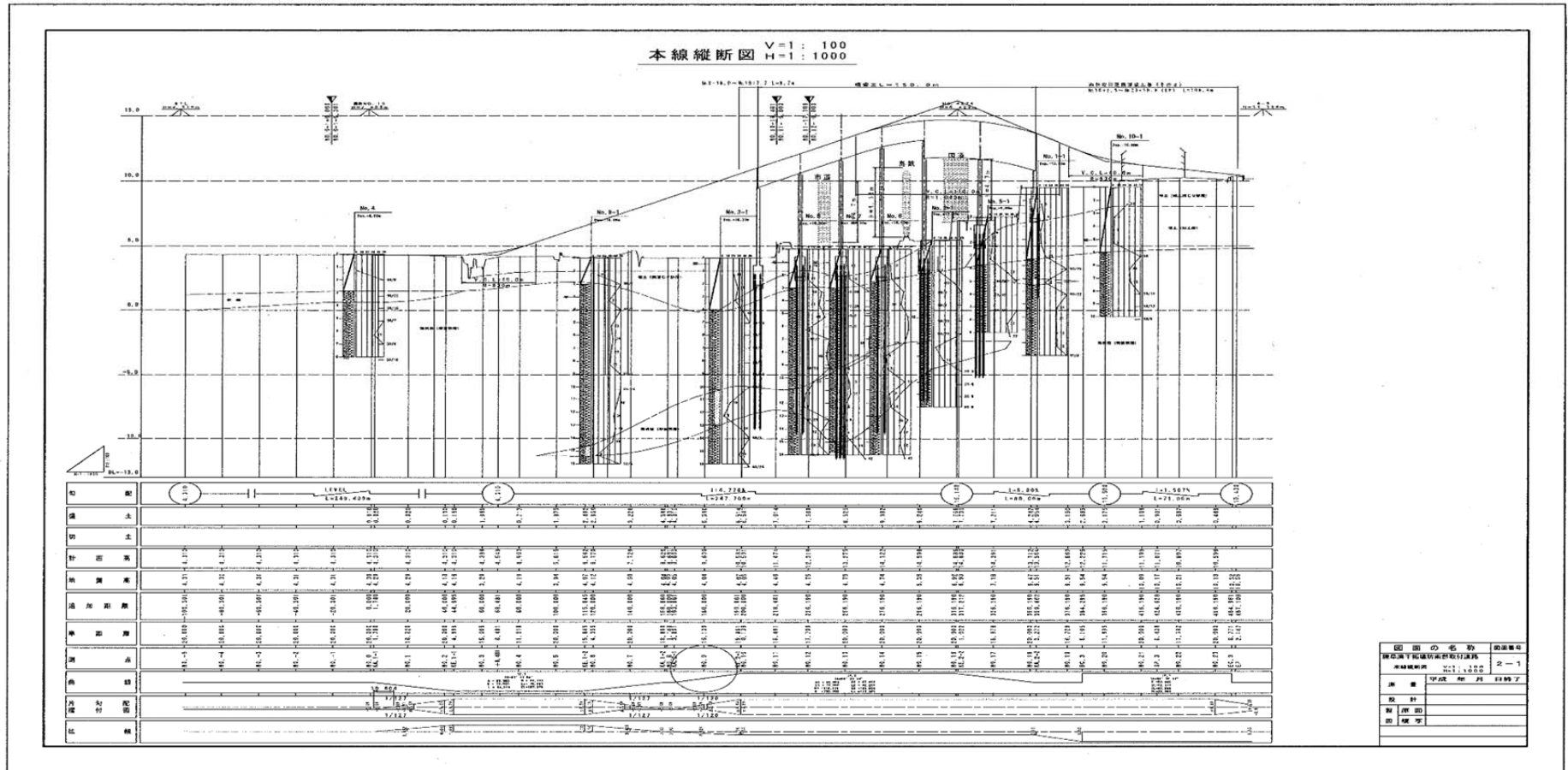


※リストの最初のページに「日本測地系」もしくは「世界測地系」の区分を記載する。

例：縦断面図 CAD データ

CAD 図面データを提出する。

例 1 2

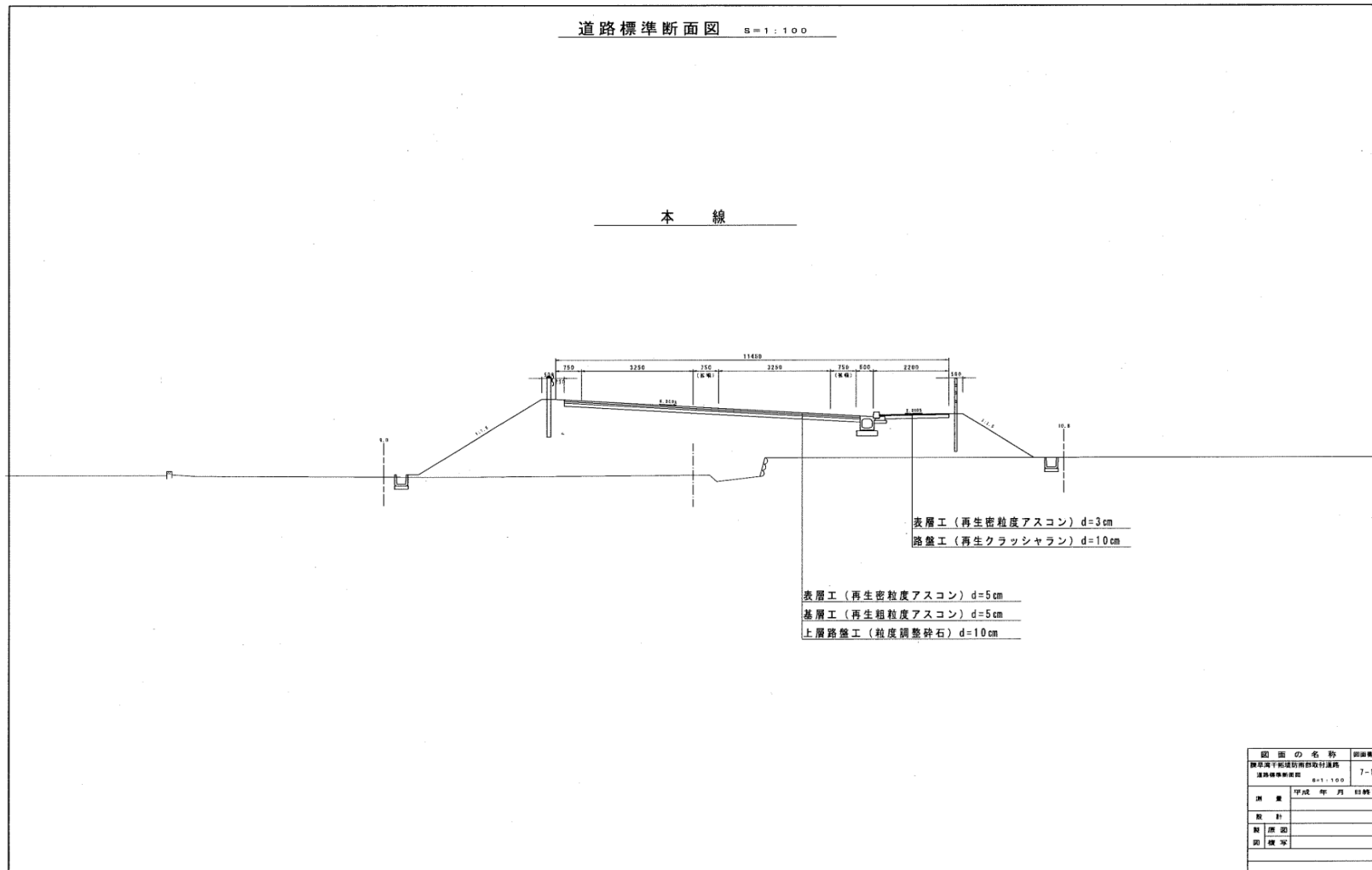


縦断面図

例：標準横断面 CAD データ

CAD 図面データを提出する。

例 13



※平面図で歩道設置状況・路肩状況が確認可能であれば標準横断面図の提出は不要(1/500 程度の平面図を想定)

標準横断面

例：道路冠水想定箇所リスト

※各都道府県・政令市から整備局又は国道事務所に資料提出している場合は、提出不要です。

リスト内容：道路冠水想定箇所リスト及び位置図

対象：道路冠水想定箇所の全て

形式：xls

例14

道路冠水想定箇所リスト（事例）

管理番号	道路冠水危険箇所名称	道路種別	路線名称	都道府県名称	住所(市町村)	住所(字丁目)	交差施設名称	備考
1	鈴木立体	一般国道 (指定区間)	〇〇号	〇〇県	〇〇市	〇〇市〇〇	JR 中央本線	
2	佐藤アンダー	主要地方道	主要地方道××号	〇〇県	△△市	△△市××町1丁目	国道〇〇号	歩道
3	斉藤地下道	一般県道	△△号	〇〇県	〇×町	〇×町××	△△通り	
4	日本高速自動車道 ボックスカルバート	市町村道	主要地方道△△号線	〇〇県	〇△町	〇△町△△3番地	日本高速自動車道	
5	JR 貨物線 田中地下道	市町村道		〇〇県	××村	××村大字××字××	JR 貨物線	

例 15

■ 道路冠水想定箇所図

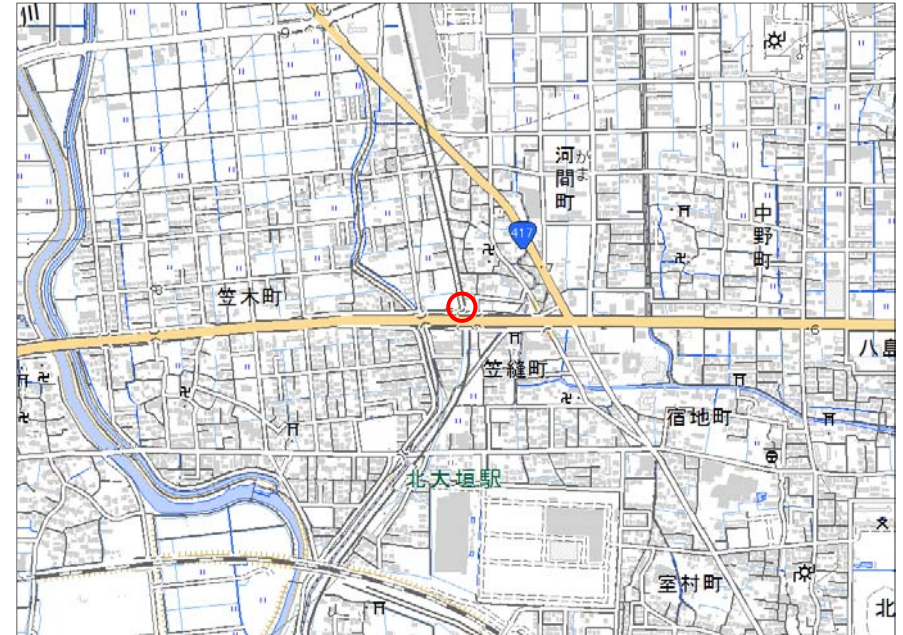
道路冠水想定箇所リストに新規に追加した箇所については、箇所図を添付する。

道路冠水想定箇所				
番号	箇所名(通称名)	種別	路線名	交差施設名
国(〇〇)1	山田アンダー	主要地方道	×△号	私鉄△〇線
住所				
県名	市町村	丁目	番地	
〇〇県	〇〇市	△△3丁目		
道路管理者		警察署 ※緊急時は110番へ	消防署 ※緊急時は119番へ	
名称 TEL	〇〇国道事務所 111(111)1111	名称 TEL	〇〇警察署 111(222)2222	〇〇消防組合消防本部 111(333)3333
位置図				
現地写真				
起点側		終点側		
備考				

例 16

■ 道路冠水想定箇所位置図

「道路冠水想定箇所図」が無い場合は、地理院地図等に位置を示す。



例17

■異常気象時通行規制区間の例

異常気象時通行規制区間については、必要に応じて、通行規制区間、起点、終点等の確認をさせていただきます場合があります。

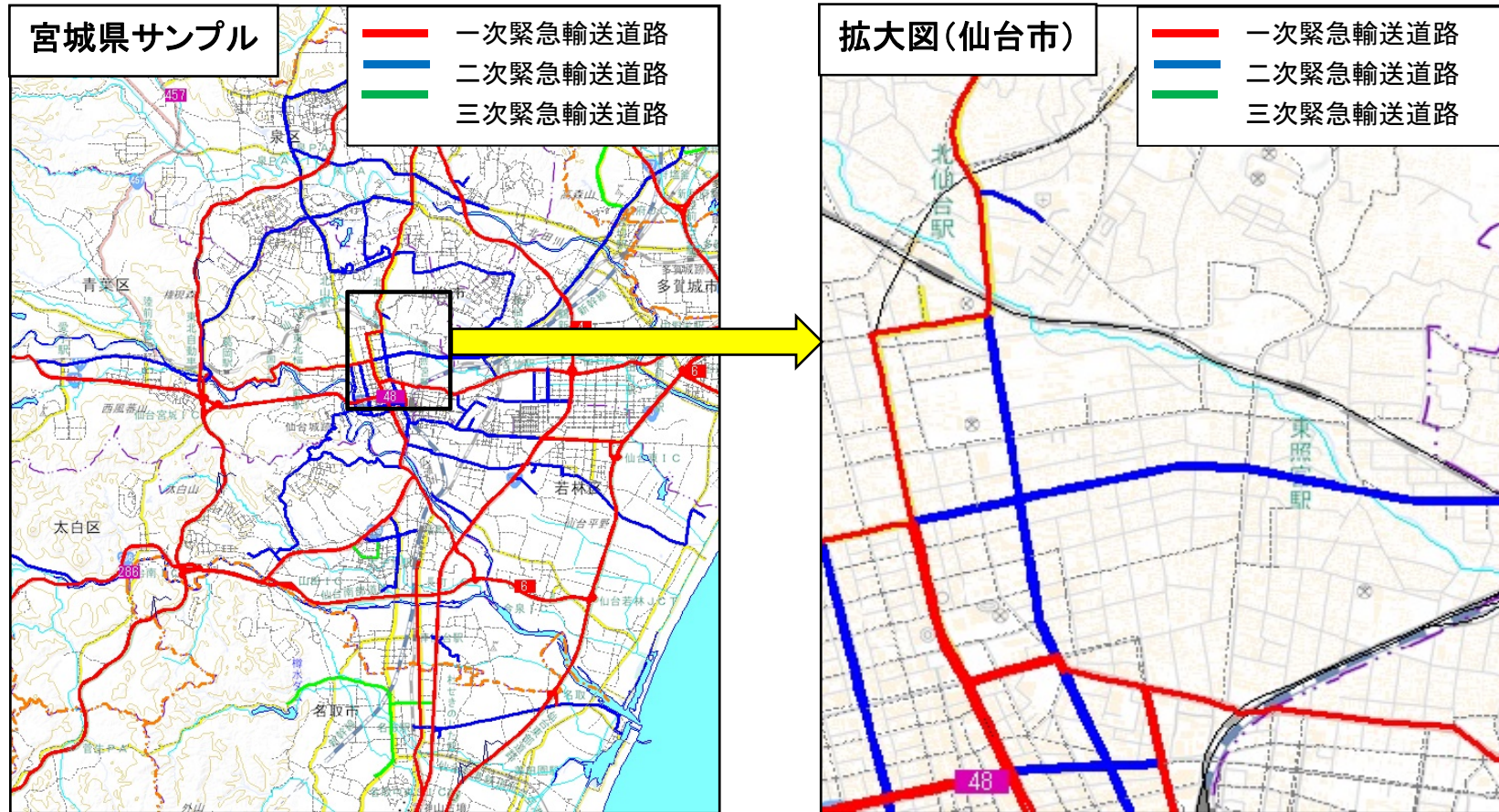


道路防災情報 Web マップ(個別箇所表)

事前通行規制区間 箇所表			
管理番号	箇所名称	気象等観測所	種別
宮城県-01-202	ささや笹谷	笹谷	国道
住所		規制条件(通行止)	
都道府県名	市町村 字丁目		
宮城県	(起点) 柴田郡川崎町 今宿笹谷 (終点) 柴田郡川崎町 今宿笹谷(山形県境)	時間雨量が30mmに達した場合又は累計雨量が100mmに達した場合	
管理者		警察署	消防署
名称	大河原土木事務所	名称	大河原警察署
TEL	0224(53)3917	名称	大河原消防署
		TEL	0224(52)1136
備考			
位置図			
【起点側】		【終点側】	

■ 緊急輸送道路の例

緊急輸送道路については、必要に応じて、道路ネットワーク（指定区間）、起点、終点等の確認をさせていただく場合があります。



例：路線データ(様式2)

一般国道、主要地方道、一般都道府県道、主要幹線市道の路線データ（平成30年度まで）が記載されています。令和元年度内に路線名、起終点地名等の変更が見込まれる箇所を見え消しで修正する。また、追加路線として令和元年度内に道路が開通、移管がある場合は、朱書きで追記する。

例19

道路種別		路線番号	路線名	都道府県内・起終点位置		備考
道路種別	*			地名	上段 起点位置データ 2次メッシュコード	
主要地方道（都道府県道）		000*	□□△△線	〇〇市△□ □□市〇〇	***** *****	**** ****
主要地方道（都道府県道）		00**	〇〇□□線	〇〇市□□ □□市△△	***** *****	**** ****
主要地方道（都道府県道）		00**	〇〇△△線 □□△△線	〇〇郡△△町□□ △△市□□町 〇〇市△△字□□△△	***** ***** *****	**** **** ****
主要地方道（都道府県道）		00**	〇△△□線	□□市△△ □△郡〇□町△	***** *****	**** ****
主要地方道（都道府県道）		00**	□△△〇線	□□市△△ △△市〇〇□□	***** *****	**** ****
主要地方道（都道府県道）		00**	□□△〇線	〇〇市△△ △△市〇□郡□△	***** *****	**** ****
一般都道府県道		00**	〇〇〇〇線	〇〇市大字□□ △△市大字■		

※記入例は架空のもので

(注) ①管理境界を都道府県内起点・終点とする。起終点の修正、ノード番号が空白の起終点、新規路線の起終点については、路線図又は管内図等に位置を記入する。
なお、分かりにくい場合は、縮尺 1/500 など大縮尺の図面に記入する。地名の地番記入は不要。

②フリガナは不要

③*：2次メッシュコード、ノード番号のチェックは不要

追加路線(に道路が開通(部分開通を含む))を朱書きで追記する

4. 参考……標準的な年間スケジュール

調査内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
高速道路・国道・都道府県道・政令市道 等	基礎資料作成説明 (要領を説明)			▲									
	基礎資料作成と送付			→ 資料作成・提出									
	現地資料収集							▲					DRM協会より現地でヒアリング実施
	不明箇所等の照会 (提出更新情報の不明箇所を照会票等により確認)						→ 回答作成・提出						
	入力箇所の確認 (当年度に入力したデータの確認)								→ 更新データ確認				当年度に資料を提供した箇所の確認
市町村道 等				→ 資料依頼・提出									
供用状況調査 (供用状況をホームページや報道発表、問い合わせで随時確認)	----- (随時) ----- → 随時調査												